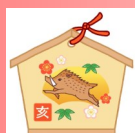




亥 きね川日記 亥

きね川福祉作業所内の日々の出来事をお伝えします。



＜新年会から＞



いあい

旧年中は、きね川福祉作業所の運営に温かいご理解、ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

さて、施設の収入源である国の自立支援給付費ですが、昨年4月の就労継続支援B型の報酬単価はやや上がりましたが、工賃達成加算が廃止となり、実質の収入は減少しました。また、葛飾区の補助金も見直しが検討されています。いずれ、削減されるものと心配しています。

区の利用調整会議により、4月からきね川福祉作業所を利用される新卒の方の斡旋は難しい結果に終わりました。4月は46名の定員を割り、44名でスタートする予定です。昨年4月に入所施設に移行された方が4人いらっしゃいました。利用者・保護者の高齢化により、通所することが難しくなってきたの苦渋の選択でした。利用者の中には、年を重ねてきた方も多く、サービスそのものを考えなくてはならない時期に来ていると思われます。

やはり、期待されるサービスは、車両による通所送迎と感じます。財務収支を考えながら、工夫をしていきたいと思えます。利用される方が、安全で安心して利用していただくためにも、生活介護事業と就労継続支援B型の多機能化を目指す他はないと考えました。今年はそのための準備を進めていく年としたいと思います。利用者個々に様々な思いで利用されています。一人ひとりの思いを大事にして進めていきたいと思えます。

皆様方には、本年も一層のご指導とご理解を賜り、よりよい事業運営を進めて参ります。どうぞ本年も良き年でありますようお願いいたします。本年も変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。

施設長 大和田 卓